

男女共同参画社会をめざして

「ワーク・ライフ・バランス」って何？



ワーク・ライフ・バランスとは、仕事と生活において男性と女性の働き方について見直し、うまく調和できるように調整することです。それぞれの職場で多様な働き方ができるように就業環境を柔軟な発想で整えていくことをいいます。

たとえば、性別・年齢を問わず、育児や介護、趣味や学習、地域活動など「仕事以外の生活」と「仕事」との調和を図り、その両方を充実させようと調整する働き方・生き方を考えていくことです。

しかし、日本では「男性は仕事中心、女性は家事・育児中心」というような、性別による役割分担意識が残っていて、男性にとっても、女性にとっても、仕事と生活を両立させづらい状況となっています。

また、「安定した仕事に就けず、経済的に自立できない」「仕事のストレスで心身ともに疲弊し、健康を害しかねない」「仕事と、子育てや親の介護との両立に悩む」など、仕事と生活の間で問題を抱えている人が多くいます。

この状況が、働く人々の将来への不安や、豊かさを実感できない大きな要因となっていて、社会の活力の低下や少子化・人口減少という現象にまでつながっていると考えられます。このことを解消するために、仕事と生活の調和・調整が必要になってきています。

仕事を一生懸命頑張った人、家族との時間を大切にしたい人など、人生のそれぞれの段階や状況に応じて、何が重要であるかは異なります。



市人権推進課(教育庁舎1階)
 〒322-2122
 FAX 333-3525
 Mail: jinkensuishin@city.komatsushima.tokushima.jp

市民文芸 花みずき歌壇 (323) 松並敦子・選

春日浴び草抜き水やり小半日野菜と語らう我が誕生日

立江町 湯浅かや子

《評》年を重ねると誕生日の過ごし方も変化してくる。健康でこの日が迎えられたことへの感謝、家族が恙無く暮らしてくれようことへの願いなど、人生の区切りとしての意味が大切になってくるように思う。「草抜き水やり」をしながら「野菜と語らう」生活の中に、穏やかに年を重ねてゆくことの大切さと、幸せを改めて感じさせられた作品である。

散らし寿司は母さんの味上手やなどお世辞言いつつ娘は持ち帰る

赤石町 田原トシ子

母の日にピザ抱え来し娘、孫、曾孫に囃され歌う「北国の春」

横須町 福島 夢栄

どこへゆくあてもなければどとりあえず更新しておく十年旅券

横須町 山崎 泰子

大地震まだ鎮まらぬ熊本地方他人ごとならず募金箱へと

神田瀬町 大西カヲル

山桃の味も色合いも日本一塩少し振ればなお味の良し

中田町 倉橋 正則

病棟を囲むがごとく連なりて花の園なる大神子病院

立江町 濱 耕一

連日の悪天候はいやになる夕べの計画全て取り消し

坂野町 橋本千代乃

鉢植えの桜咲き初め客間より茶の間に移し春を惜しめり

小松島町 川人 豊子

ものはみな落つるものなりわが掌よりやすやす落つる箸も

気分も

ひのみね総合療育センター 関 政明